

建設計画に係る平成21年度および22年度実施事業に関する意見に対する対応調書

資料2

地区名：国分寺

地区名	項目番号	項目	事業の内容 (地域審議会からの意見等)	担当部局	担当課	前回までの対応	担当課	今後の対応
国分寺地区	1	国分寺地区における文化施設の整備	○ 早期の着工・完成 国分寺地区文化施設の整備は、建設計画の最重要課題として取り上げられ、既に、国分寺地区文化施設整備検討委員会において、規模・機能等について審議されているところではありますが、早急に、整備方針を取りまとめた上で、21年度から、具体的に予算化していただき、早期完成に向け、取り組まれます。	市民政策部	国際文化振興課	国分寺地区文化施設整備については、本年度、学識経験者や地域審議会、公募委員などからなる検討委員会を設置し、3回にわたる会議を経て、8月に検討結果報告書が提出されたところです。同報告書については、既に議会や地域審議会にも報告しているところですが、今後、本市としては、この報告書に盛り込まれた意見を踏まえ、基本構想(案)を策定し、議会の始め、地域審議会、パブリックコメントなど様々な意見を聴く中で、整備を進めていきたいと考えています。	国際文化振興課	国分寺地区文化施設整備については、昨年8月に提出された国分寺地区文化施設整備検討委員会からの検討結果報告書を基に、議会の始め、パブリックコメントなど様々な意見を聴く中で、本年2月に基本構想を策定したところです。 (施設整備の概要) ・整備場所 国分寺支所南側市有地 ・客席 約500席(可動式・一部電動) ・本市西部地域における文化活動の拠点となる中型のホールとして整備 ・本格的な設備を備えたホールとは、その機能や役割を明確に分けたものとして整備 ・式典や展示、軽運動にも利用できる機能を併せ持つ施設として整備 平成21年度は地域審議会や議会の意見も聴きながら、基本構想に基づく基本設計・実施設計を行います。
国分寺地区	2	J R 端岡駅周辺整備事業	○ 事業の進行管理 この整備事業を進めるに当たっては、J Rおよび地権者との協議等多くの課題もあることから、時間を要すると思いますが、現行の高松市まちづくり戦略計画のとおり、平成21年度の道路等実施設計、平成22年度の事業着手に向け、取り組まれます。	都市整備部	都市計画課	J R 端岡駅の周辺整備については、現在、アクセス道路や駅南側における駅前広場の整備などについて、現状や課題の整理を行っており、まちづくり戦略計画に位置付けられている、平成21年度の道路等実施設計の着手に向け、適切に取り組んでいきます。	都市計画課	事業着手に向けて課題を解決するため、地元の考えをお伺いする場を設けるほか、利用者アンケート調査などを実施し、地元住民や利用者の合意形成を図るとともに、J R 四国等関係機関との協議・調整に努めてまいります。
国分寺地区	3	C A T V の整備	○ 整備の見直しについて C A T V の整備に向けて、前回の審議会以降の進捗状況と、今後の整備に向けた取組についてお聞きしたい。	総務部	情報政策課	第三セクターである(株)ケーブルメディア四国が、光ファイバーでケーブルテレビ網を整備し、その回線を超高速情報通信網としても利用する整備手法を基本に、具体的な整備内容等について協議中であり、できるだけ早期実現を図る予定です。	情報政策課	ケーブルテレビの整備については、昨年度の国の第1次補正予算に対応するとともに、平成20年12月議会で当該事業に係る補正予算が認められたことから、当初計画を1年前倒しし、平成21年度末までに、既にケーブルテレビ網が整備されている塩江地区を除く合併地区について、隣接する旧高松市域と同等の、世帯カバー率80%のエリアについて整備するものです。 国分寺地区においては、本年7月頃から、加入率向上を図るため、自治会等での説明会を開催し、10月を目途にサービスを開始する予定です。 また、今回の整備において対象外となるエリアについては、まとまった加入希望のある地域への部分整備等について、ケーブルテレビ事業者と整備基準を調整するなど、次年度以降のサービスエリア拡大について検討していきたいと考えています。
国分寺地区	4	公共交通の整備	○ コミュニティバスの存続 コミュニティバスの運行については、路線の見直しをはかるなどの改善策を行っていただいているところですが、利用率は依然として厳しい状況です。 しかし、交通弱者や地域住民の生活のための交通手段として、必要不可欠なものであり、引き続き、存続されるよう強く要望したい。	市民政策部	企画課 交通政策室	国分寺町コミュニティバスは、昨年の10月に路線変更や便数増の運行計画の見直しを行い、利用促進に努めてきましたが、10月からの6か月間における一日あたりの利用者数(93人)は平成18年の同時期(89人)と比較して微増していますが、1便当たりの乗客数は、18年度の3.2人に対し、19年度では2.3人と1.0人減少しています。 今後、地元関係者組織との連携も図りながら、利用促進施策を検討していきたいと考えています。	企画課 交通政策室	国分寺町コミュニティバスは、平成19年10月に路線変更や便数増の運行計画の大幅な見直しを行い、利用促進に努めております。 しかしながら、平成20年度の利用状況は、一日当たりの利用者数は91人、1便当たりの乗客数は2.2人と、やや減少傾向にあり、特に、国分駅前～県営プールの区間について利用が少ない状況となっております。 このため、当該区間の減便を含めた運行計画の見直しについて、本年5月8日開催の利用促進協議会の場で、了承を得たところであり、国の変更認可手続(約3か月)を進めているところです。